



小説：プラム宝玉堂

挿絵：きやゆか

凌辱カリオストロ

【カリオストロ城・アナザーストーリー】

峰不二子が脱出に失敗し、捕らわれの身となった場合、
どのような尋問が待ち受けていたのだろうか。

◆主な登場人物

■峰不二子

華麗なる女泥棒。

スリーサイズはバスト 99.9cm

ウェスト 55.5cm

ヒップ 88.8cm

クラリスの召使いとしてカリオストロ城に入り込んでいた。

負傷したルパンとともにオートジャイロで逃げようとした際、捕らえられてしまう。

通常の尋問で口を割らないであろう不二子。

施されたのは、恥辱の流腸尋問。調教の日々だった。

■カリオストロ伯爵（グラフ・ラザール・ド・カリオストロ）

カリオストロ公国の事実上の統治者。

伯爵家当主で、表向きは傲岸不遜ながらも紳士的だが、本性は強欲で冷酷。残忍な糞尿愛好家でもある。

■ジョドー

カリオストロ伯爵に仕える有能な執事。

裏の顔として、各国の情報機関からも恐れられる公国の特殊部隊「カゲ」の長官も兼任している。伯爵の糞尿愛好に貢献するため、様々な器具を揃え、その知識は深い。

【各章】

プロローグ 捕らわれた峰不二子

1. 注射器型浣腸の猛威
2. イルリガートルの苦悶
3. 屈伏の証 自然排便
4. 嗚咽のエネマシリンジ
5. 接待浣腸愛奴 巨大浣腸責めに瀕死

[捕らわれた峰不二子]

クラリスが閉じ込められていた北の塔でルパンが撃たれ重傷を負う。オートジャイロに乗る銭形がなんとかルパンを助けたが、峰不二子だけは逃げられず……。

「……………！」

左右にガトリングの砲台。

背後の部屋には近衛兵が隙間なく配備され、そのなかに暗殺のプロ集団「カゲ」もいる……。

「か……観念したわ」

両手を頭の後ろに回した不二子を見て、カリオストロ伯爵とジョドーはニヤリと不適な笑みを浮かべた。

「フフ……。先程も言ったがお前には色々と聞いておきたいことがある」

「ホッホ！尋問室にご同行願いましょう」

不二子は手を頭の後ろに回したまま、前屈みになり降伏した。

「そんな……不二子さん……」

クラリスが部屋に戻されると、近衛兵のグスタフが不二子に近づき、首輪を嵌めた。

ーガチャリ。

「お前があのだ、有名な女泥棒 峰不二子だったとはな。さあ、立て！尋問室だ」と上擦った声で言った。

(……………)

いやらしく笑う伯爵と、ジョドー。

鎖を引きながら舌舐めずりをするグスタフから色責めが用意されていることを察する。

「フフ……………。お手柔らかにお願ひするわ」

「…………ぬう？」

色責めを察した不二子は、口許に笑みを浮かべ余裕の表情をみせた。

「手は後ろにまわしたままだ！足は広げて歩け！」

ーグイッ！



「……さてと。何をされるのか楽しみね」

このような窮地では何度も男を虜にし、脱出を成功させてきた経験測によるものだ。

「その澄ました顔がいつまで続くものか、楽しみだな」

「ホッホッ！カリオストロ公国には400年以上を以て培った尋問の術がある。お前が考えているほど、柔なものではないぞ」

尋問は本編でお楽しみください

